

令和6年度 社会福祉法人修倫会事業報告

I 基本理念

社会福祉法人修倫会は地域と共に、地域福祉のセーフティネットを構成する社会資源として、障がい者支援の役割を担い信頼される法人をめざします。

II 基本方針

「利用者の自己選択」「就労支援の強化」「地域生活支援」をキーワードに、以下の3点を基本方針とする。

- (1) 利用者の人権を尊重し満足度の高い福祉サービスに努める。
- (2) 各事業所及び職員の連携を強化し、社会資源やネットワークの活用を努める。
- (3) 職員は、支援者としての役割を自覚し専門性の向上に努める。

III 経営事業

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の事業を行った。

○第二種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業

「松柏園」就労継続支援B型（定員40名）

「あすリード本舗」就労継続支援B型（定員20名）

「みずき園」共同生活援助（定員22名）

令和6年4月～9月

「みずき園」就労継続支援B型（定員40名）

令和6年10月～令和7年3月

「みずき園」就労継続支援B型（定員15名）

生活介護（定員20名）

(2) 一般相談支援事業

「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」地域移行支援・地域定着支援

(3) 特定相談支援事業

「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」特定相談支援

(4) 障害児相談支援事業

「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」障害児相談支援

(5) 障害者就業・生活支援センター事業〈生活支援等事業〉

「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

○公益事業

(1) 障害者就業・生活支援センター事業〈雇用安定等事業〉

「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

IV 令和6年度重点項目

法人が経営する「松柏園」、「みずき園」、「あすリード本舗」、「チャレンジドセンター久慈」の4事業所が相互に連携し協働のもと、激変する経営環境を見極めながら、次の項目に取り組んだ。

(1) みずき園生活介護事業導入計画の実施

令和5年度に策定した「みずき園生活介護事業導入計画」に基づき、令和6年10月から生活介護事業を開始した。

生活介護事業の導入にあたっては、就労継続支援B型事業の縮小と3年後の廃止について利用者、ご家族に個別に説明し、事業の目的に沿った利用となるよう努めた。

(2) 法人中期計画に基づく就労支援作業再編の検討

みずき園の就労継続支援B型事業縮小に伴う廃止予定の就労支援作業について、法人内での作業再編を検討したが、作業収益から見込まれる工賃水準が低いため、作業の切り替えや職員配置が難しいと判断し、予定通り作業廃止とした。

V 法人の運営

1 評議員会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	評議員 (定数7)		
定 時 6月20日	5		(1) 報告事項 令和5年度事業報告について (2) 議案 令和5年度計算書類及び財産目録の承認について

2 評議員選任・解任委員会の開催状況

今年度の開催はありませんでした。

3 理事会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	理事 (定数6)	監事 (定数2)	
第1回 6月4日	6	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について みずき園生活介護事業導入計画の進捗状況について (2) 議案 令和5年度事業報告について 令和5年度決算について 令和6年度定時評議員会の招集について 令和6年度第1次補正予算について
第2回 9月2日	6	1	(1) 報告事項 寄付金の受け入れについて (2) 議案 就業規則の一部変更について 給与規程の一部変更について 経理規程の一部変更について みずき園運営規程の一部変更について 令和6年度みずき園事業計画(10月～3月)について 令和6年度第2次補正予算について

第3回 12月6日	6	2	<p>(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）事務指導の実施結果について みずき園生活介護事業導入計画の進捗状況について みずき園共同生活援助事業の指定更新申請結果について</p> <p>(2) 議案 みずき園共同生活援助運営規程の一部変更について あすリード本舗運営規程の一部変更について 松柏園運営規程の一部変更について 令和6年度第3次補正予算について</p>
第4回 3月18日	6	2	<p>(1) 報告事項 令和6年度障害福祉サービス事業者等の運営指導の実施結果について</p> <p>(2) 議案 令和6年度第4次補正予算について 定款細則の一部変更について 就業規則の一部変更について 給与規程の一部変更について 有期契約職員就業規則の一部変更について 育児・介護休業規程の一部変更について 旅費規程の一部変更について みずき園共同生活援助運営規程の一部変更について 令和7年度事業計画について 令和7年度予算について</p>

4 監事監査

監査等	開催日	内容
決算監査	5月23日	令和5年度業務執行状況及び財産状況監査 監事：佐々木信蔵、勝田好正 説明者：間健倫理事長、田代順専務理事、 各事業所管理者4名及び事務員6名
出納調査	5月23日	1月～3月までの会計執行状況
	8月27日	4月～6月までの会計執行状況
	11月22日	7月～9月までの会計執行状況
	2月20日	10月～12月までの会計執行状況

5 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 (1) 会計顧問 (2) 決算監査 (3) 税務顧問

6 福祉サービスに係る苦情解決事業

(1) 苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。

(2) 苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付はありませんでした。

7 身体拘束適正化の取り組み

(1) 指針の整備

身体拘束禁止に関する指針を整備し、利用者に対する身体拘束を禁止するとともに、やむを得ず身体拘束や行動制限を行う場合の対応方法を明確にすることで、利用者の人権を尊重した適正な支援の提供に努めた。

(2) 身体拘束廃止委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員で構成する「身体拘束廃止委員会」を設置し、各事業所の取り組みを点検するとともに、身体拘束の廃止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は2回開催し、該当ケースに係る定期検討会を実施した。

8 虐待防止の取り組み

(1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

(2) 虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

(3) 虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は4回開催し、職員倫理綱領の周知や職員セルフチェックの活用と課題検討を行った。また、法人内全職員を対象とした虐待防止研修を企画・実施した。

9 感染症の発生及びまん延の防止等に関する取り組み

(1) 指針の整備

感染対策に関する指針を整備し、平常時の対策、発生時の適切な対応など、感染対策体制を確立し、適切で安全なサービス提供に努めた。

(2) 感染対策委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員及びサービス管理責任者で構成する「感染対策委員会」を設置し、感染予防及び発生時の対応について具体的な対策を講じるなど、感染症の発生及びまん延の防止等に向けた取り組みを行った。

今年度は4回開催し、新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザに感染した場合の対応基準を更新し、職員・利用者に周知した他、集団感染発生時の対応に係る課題を検討し、対策の見直しを行った。また、法人内全職員を対象とした感染症対策の研修及び訓練を企画・実施した。

10 業務継続に向けた取組

(1) 業務継続計画の策定

感染症や非常災害の発生に備え「業務継続計画」を策定し、必要なサービスが継続的に提供でき、かつ、早期の業務再開を図るための体制を構築した。

(2) 感染対策委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員及びサービス管理責任者で構成する「感染対策委員会」を設置し、感染症に対応する業務継続計画を職員に周知するとともに、必要な研修及び訓練を企画・実施した。

(3) 災害対策委員会

法人内に全事業所の係長以上の職員及びサービス管理責任者で構成する「災害対策委員会」を設置し、自然災害に対応する業務継続計画を職員に周知するとともに、必要な研修及び訓練を企画・実施した。

今年度は4回開催し、豪雨災害を想定した避難訓練、地震・津波災害を想定した避難訓練、職員安否確認訓練を実施したほか、机上型訓練を通じて業務継続計画の検証と見直しを行った。

1.1 地域における公益的な取組

(1) 「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度のサポート対応はありませんでした。

1.2 情報公開

(1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項等について公開した。

○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、役員等名簿、事業の概要、計算書類

○積極的な公表事項

事業報告書、財産目録、付属明細書、監査報告書、社会福祉充実残額算定シート

(2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

1.3 研修の状況

(1) 法人役職員の外部研修への参加

期 日	研修名	場 所	参加者
7月22日	令和6年度社会福祉法人経営サポートセミナー (岩手県保健福祉部主催)	久慈地区合同庁舎	施設長 鈴木 潔
2月6日	改正育児・介護休業法等説明会 (岩手労働局主催)	オンライン	事務局長 田代 順 事務局次長 鈴木 潔
7月27日	令和6年度時間外労働の上限規制に関する説明会 (岩手労働局主催)	二戸シビックセンター	事務局長 田代 順

(2) 法人職員研修会の開催

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
10月19日 (土)	令和6年度第1回法人職員研修会 ○法人の災害対策と取り組みについて 説明者：専務理事 田代 順 ○法人の感染症対策と取り組みについて 説明者：専務理事 田代 順 ○虐待防止研修 「職場における人間関係の重要性」 講師：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔	久慈市総合福祉センター	全事業所職員50名

2月1日 (土)	令和6年度第2回法人職員研修会 ○虐待防止職員セルフチェックについて 講師：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔 ○第2回感染症対策研修会及び第2回感染症 対策訓練 座学「施設における感染症対策について」 実技 ①防護服着脱 ②汚物処理 講師：岩手県久慈保健所 保健師 太野 奏恵 氏 ○身体拘束の基本 グループワーク「皆で、知ろう 身体拘束」 講師：チャレンジドセンター久慈 施設長 鈴木 潔	久慈市総 合福祉セ ンター	全事業所 職員52名
-------------	---	---------------------	---------------

(3) 各施設の職員研修

施設名	内部研修の 実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	0	6	7
みずき園	0	4	4
あすリード本舗	0	1	1
チャレンジドセンター久慈	2	11	19
合計	2	22	31

1.4 役員等の状況（令和7年3月31日現在）

【評議員7名（定数7名）】

田表 一夫 日沢マサ子 田中 泰郎 瀧 重吉

村田 幸江 松野下富則 七十刈清明

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日

満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【理事6名（定数6名）、監事2名（定数2名）】

理事長 間 健倫 専務理事 田代 順 理事 中野 信男

理事 大崎 恵作 理事 間 加壽子 理事 高屋敷真喜子

監事 佐々木信蔵 監事 勝田 好正

※ 任期 就任年月日：令和5年6月22日

満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【評議員選任・解任委員5名（定数5名）】

外部委員 岩崎 壽吉 外部委員 宇部 繁 監事 佐々木信蔵

監事 勝田 好正 事務局員 渡辺 和光

※ 任期 就任年月日：令和3年6月23日

満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

【第三者委員2名（定数2名）】

神田 秀子（元評議員） 神田 光子（元民生児童委員）

※ 任期 就任年月日：令和5年6月22日

満了年月日：令和7年6月に開催される定時評議員会終結の時

15 職員の状況（令和7年3月31日現在）

施設名	職員数	内訳		
		常用職員	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	15	5	6	4
みずき園	28	10	8	10
あすリード本舗	11	7	2	2
チャレンジドセンター久慈	5	4	1	0
合計	59	26	17	16

VI 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・令和6年度松柏園事業報告
- ・令和6年度みずき園事業報告
- ・令和6年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・令和6年度あすリード本舗事業報告
- ・令和6年度チャレンジドセンター久慈事業報告

VII 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

令和6年度 松柏園事業報告書

1 総括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、前年度に引き続き加齢や疾病の進行に伴い、3名の退所者があった。退所者は長期利用している高齢で身体障害の利用者が多く、今後この傾向が見込まれる。後期に新規利用者が1名あったが、利用契約者、平均利用者数が減少しており新規利用者の獲得が課題となった。

就労支援事業では、利用者数が減少し限られた職員数の中で、これまでと変わらない営業努力を続け、従来と同じ仕事量を確保した。また、燃料費や物価の高騰が今年度も続いたが機械の使用法の効率化や工夫、部材の再利用など行い経費の削減に努めた結果、平均工賃月額 39,848円となり目標工賃額を上回ることができた。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (令和7年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長(管理者)	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
目標工賃達成指導員	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	5	4		1		4.5
職業指導員補助	1			1		0.8
事務員	1	1				1
運転手	2			2		0.8
合 計	15	11		4		13.1

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

アセスメントにより利用者や家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の障がい特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々

のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

利用者の生きがいのある豊かな生活のため、季節ごとに創意工夫した各種行事を実施した。また、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され、行動制限が緩和されたことから、感染対策を行いながら施設外の行楽行事を行った。

- ・夏の行事（大野キャンパス体験・見学）、秋の行事（小岩井農場見学）
- 忘年会（久慈グランドホテル）、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 33名（利用率97%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を実施した。また、希望者（16名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス利用者数 31名（利用率94%）

(8) 非常災害対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、消防計画及び業務継続計画を策定し、各種訓練を実施した。

防火対策では、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき避難訓練（通報・避難誘導）及び消防署指導による総合訓練（初期消火・通報・避難誘導）を実施した。

自然災害対策では、業務継続計画に基づき、地震・津波を想定した初動対応及び一時避難訓練を実施したほか、豪雨災害を想定した初動対応及びグループホーム利用者のみずき園への避難訓練をみずき園、あすリード本舗合同で実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当職員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、生活支援に努めた。

4 利用者の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	24	23	23	22	22	22	23	23	23	23	23	23	274	22.8
女性	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	137	11.4
合計	36	35	35	34	34	33	34	34	34	34	34	34	411	34.2

(2) 障害別利用者数

(単位：人)

障害種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	程度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	
利用者数	0	7	0	1	1	2	0	20	2	0	0	1	34
小計	11						20		3				

(3) 年齢別利用者数

(単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	5	3	6	11	9	34	50.9歳

(4) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	24	3	4	3	0	34

5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	22	22	21	23	19	22	23	21	21	20	20	21	255
延利用者数(人)	679	687	637	673	517	636	697	625	609	581	575	608	7524
1日平均利用者数(人)	30.9	31.3	30.4	29.3	27.3	29.0	30.4	29.8	29.0	29.1	28.8	29.0	29.6
利用率(%)	85.7	89.2	86.7	86.1	80.0	87.6	89.1	87.5	85.3	85.4	85.0	85.2	86.1

6 就労支援事業の状況

(1) 年間就労支援事業収入

作業科	収入(円)	前年度対比(%)
クリーニング	32,649,738	97.5%
縫製	2,277,151	100.2%
シルクスクリーン印刷	15,311,311	84.0%
合計	50,238,200	93.1%

(2) 工賃支給状況

	令和6年度目標	令和6年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	35,750円	39,848円	35,198円

(3) 各科の状況

<クリーニング科>

主力となる4施設の入所者私物クリーニングは、年に数回だが新型コロナウイルス感染症が発生し特浴回数が減った為、それに伴い洗濯物も減少した事が要因で前年比4.1%減となった。

一般クリーニングは、民間事業所のユニホームや白衣、イベント関係のクリーニング、学校等団体への継続的な営業活動により、安定した売り上げを確保し、昨年度とほぼ同額となった。

基準寝具業務委託は、年度当初の契約更新の際値上げ交渉を行い、年間を通じて8.7%の増となった。

経費面では、燃料費高騰が続いている中で、ボイラーや洗濯・乾燥機の使い方の効率化を図り、燃料費削減に向けた対策を徹底して行った。

クリーニング収入内訳(円)		前年比%
施設利用者私物(老健等4施設)	22,222,420	95.9
基準寝具業務委託(特養1施設)	1,950,070	108.7
一般(団体等)	8,477,248	99.3
計	32,649,738	97.5

<縫製科>

全体での売り上げは前年度と比較し横ばいとなった。B社はエプロン仕上げが減少し前年度比減となったが、各社へ交渉を行いながら利用者が可能な作業として、A社からの畳み作業、C社からの糸切り作業の増量を行った事により前年度と同等の売り上げとなった。

作業面においては、今年度も体調不良や疾病による退所者が相次ぎ、利用者数が減少したため取り組みが難しい作業が増えてきているが、引き続き体調面や安全面に重点をおきながら、無理のない作業となるよう配慮した。

縫製収入内訳(円)		前年比%
子ども服仕上げ受託 縫製事業所A社	1,539,341	107.8
バック付属品受託 縫製事業所B社	332,217	65.6
ジャージ糸切り受託 縫製事業所C社	398,702	117.5
計	2,277,151	100.2

<シルクスクリーン印刷科>

全体での年間売上は、前年度比 16%減となった。例年受注していたあまちゃんマラソン関係のTシャツ、のぼり旗が価格競争により獲得できなかった事や、児童数の減少による学校関係の注文数が減少していることの影響が大きい。

地元広報誌による宣伝や各方面への営業を行いながら新規顧客の獲得に努め、ドライラックの増設と刷り作業の利用者を育成する事により生産数の向上を図った。また、原材料高騰が続いているため作業部材の再利用や製版をまとめて行う等経費の削減にも努めた。

支援面では作業を細分化し、複数人で取り組む事により無理のない作業となるよう配慮した。

シルクスクリーン印刷 収入内訳（円）		前年 比%
タオル類	6,021,680	103.7
Tシャツ類	5,136,400	74.1
のぼり旗類	2,225,830	75.7
その他のアイテム	1,927,401	76.0
計	15,311,311	84.0

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	1	「松柏園だより」発行		
	3	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
	4	親睦会総会	食堂	利用者30名、職員10名
	11	消防避難訓練	園敷地内	利用者31名、職員11名
5	8	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
6	29	夏の行事	洋野町大野	利用者23名、職員13名
7	1	「松柏園だより」発行		
	3	豪雨災害想定避難訓練（3事業所合同）	施設内、みずき園、4ホーム	グループホーム利用者、3事業所職員
	4	親睦会役員会		利用者7名、職員2名
	20	ふれあい福祉まつり	福祉の村	職員3名
	23	第1回感染症対策訓練	施設内	職員14名
8	13	特別工賃支給		
	14~15	お盆休み		
9	5	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
	28	秋の行事	盛岡小岩井農場	利用者20名、職員12名
10	1	「松柏園だより」発行		
	24	消防総合訓練（3事業所合同）	園敷地内	利用者31名、職員11名
11	6	親睦会役員会	会議室	利用者7名、職員2名
	21	地震・津波想定避難訓練（3事業所合同）	園内	利用者32名、職員11名
12	13	特別工賃支給		
	21	忘年会	えぼし荘	利用者25名、職員12名
	25	クリスマス会	食堂	利用者30名、職員10名
	27	大掃除	食堂	
	28~1/3	年末年始休み		
1	4	「松柏園だより」発行		
	14	BCP 職員安否確認訓練	4事業所	全職員

2	1 7	第2回感染症対策訓練 利用者健康診断	総合福祉センター みずき園	職員 利用者 30名
3	21	慰労食事会	食堂	利用者 29名、職員 11名

* 毎月15日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
年2回	モニタリング会議	全職員	利用者の個別支援計画について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	施設長、係長	法人内全事業所の運営について
年4回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
7/2 ～3	令和6年度 社会福祉従事者リ ーダー職員研修	岩手県社会 福祉協議会	岩手県民情報 交流センター アイーナ	係長 職業指導員	1名	講義 「リーダーシップとメンバーシップ」 「リーダー職員の役割とコーチング」 「多職種連携とチームアプローチ」
6/7	令和6年度 第1回チャレンジ ド在職者交流会	久慈地域障 害者自立支 援協議会 就労支援分 科会	久慈市民体育 館	指導員補助	1名	講演 「熱中症の予防と対処法」 「熱中症 もしも周りに誰も いなければ」
9/5	令和6年度 役職員研修会	岩手県社会 福祉協議会	マリオス	施設長 係長	2名	講義・ロールプレイ 「メンタルヘルス研修～管理 職から部下へのかかわり方」
10/7	就労継続支援事業 所（A型、B型）の 支援者支援研修	県北広域振 興局保健福 祉環境部	オンライン研 修	生活支援員	1名	利用者の成長と事業の成長を どのように合わせていくか ～個別支援計画」と「生産活 動事業計画や工賃向上計画」 の関係づけ、個別支援計画の 実行～
11/22	令和6年度 県北ブロック協議 会研修会	岩手県社会 福祉協議会	岩手県二戸地 区合同庁舎	職業指導員	1名	「意見・情報交換会」 ～県北福祉の未来を語ろう～ グループ討議
1/16 ～17	令和6年度 サービス管理責任 者等更新研修	岩手県社会 福祉士会	ふれあいラン ド岩手	係長	1名	演習 ・サービス提供の自己検証 ・個別スーパービジョン

令和6年度 みずき園事業報告書

1 総括

みずき園運営規程に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切な指定就労継続支援B型サービス及び指定生活介護サービス及びを提供した。

みずき園は利用者の重度化に対応するため、今年度10月から生活介護事業を開始し、就労継続支援B型（定員15名）と生活介護（定員20名）の多機能型事業所へと移行した。生活介護サービスの導入に際しては、個別面談等を通じて利用者のご家族の希望に沿えるよう対応した結果、移行後の利用者数は就労継続支援B型13名、生活介護21名の合計34名であり、他のB型事業所へ移動した方が3名であった。

就労継続支援B型は利用者の減少に伴い、製粉加工を5月に、食品製造を3月にそれぞれ終了し、就労支援作業を計画的に縮小した。農福連携の施設外作業を含むリサイクル作業と給食受託に注力し、バザーを年2回開催することにより、例年と同水準の工賃を確保した。

新規サービスとして開始した生活介護では、利用者の幅広いニーズと障害特性に対応するため創作活動メニューを工夫し、個人で取り組める活動とグループで楽しめる活動をプログラム化して提供した。また、生産活動を希望する一部の利用者には、これまで取り組んできたリサイクル作業を継続して提供し、安定した活動となるよう支援した。

2 事業の概要

2-1 事業実施期間：令和6年4月1日～令和6年9月30日

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・給食受託

2-2 事業実施期間：令和6年10月1日～令和7年3月31日

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型、生活介護（多機能型）
- (2) 指定年月日 就労継続支援B型 平成19年4月1日
生活介護 令和6年10月1日
- (3) 定員 就労継続支援B型 15名
生活介護 20名
多機能型合計 35名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目 食品製造・リサイクル・給食受託

3 職員の配置状況（令和7年3月31日現在）

職種	就労B型	生活介護	計
施設長	1		1
副施設長	1（1）		1（1）
サービス管理責任者	1		1
看護師		1	1

生活支援員	2	4 (1)	6 (1)
職業指導員	1		1
目標工賃達成指導員	1		1
生産活動専門職員 (職業指導員1、調理員1)	2		2
事務員		2	2
調理員		2	2
運転手		2	2
合 計			19 (1)

() は兼務再掲

4 施設サービスの状況（労継続支援B型、生活介護共通）

(1) 自立支援と日常生活の充実のための基本的な活動

利用者がサービスを利用することで、心身機能の維持、向上、創作的活動や生産活動等の諸活動を通して楽しみややりがいを感じることに、さらに友人や支援者等との交流を通して対人関係や活動の幅が広がることを目指して支援を行った。

また、生産活動においては、働くうえで必要な労働習慣の確立や働く意欲を高めることを目指して支援を行った。

これらの支援においては、利用者の主体的な行動を促進し、利用者の自己実現と自立を目指した支援となるよう努めた。

(2) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(3) 社会生活支援

各種行事や余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに、社会参加や生きがい作り等の支援を行った。

※主な行事 夏の外出行事、秋の外出行事、忘年会、ミズキまつり、冬の行事、慰労食事会

(4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を実施した。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温等により利用者一人ひとりの健康状態の確認を行った。

(5) 食事の提供

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、年2回アンケート調査を実施し、利用者の特性に合わせた個別の配慮をしながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事を提供した。

・給食サービス利用者数 33名（利用率 97.1%）

・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり 340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の 298円

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

・送迎サービス利用者数 31名（利用率 91.1%）

(7) 非常災害対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、消防計画及び業務継続計画を策定し、各種訓練を実施した。

防火対策では、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき避難訓練（通報・避難誘導）及び消防署指導による総合訓練（初期消火・通報・避難誘導）を実施した。

自然災害対策では、業務継続計画に基づき、地震・津波を想定した初動対応及び一時避難訓練を実施したほか、豪雨災害を想定した初動対応及びグループホーム利用者のみずき園への避難訓練を松柏園、あすリード本舗合同で実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

5 利用者の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数

（単位：人）

月別 サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
就労B型	39	39	39	38	37	36	14	13	13	13	13	13	307	25.5
生活介護							21	21	21	21	21	21	126	21.0
合計	39	39	39	38	37	36	35	34	34	34	34	34	433	36.0

(2) 障害別利用者数

（単位：人）

種別	知的障害		身体障害						精神障害				合計	
	A	B	1級	2級	3級	4級	5級	6級	1級	2級	3級	手帳無し		
B型	2	10								1				13
生活	15	6	(1)	(2)				(1)						21
合計	17	16	(1)	(2)				(1)		1				34

※（ ）は重複障害

(3) 障害支援区分別利用者数

（単位：人）

障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
就労B型	0	0	2	3	7	1	13
生活介護	2	5	11	3	0	0	21
合計	2	5	13	6	7	1	34

(4) 年齢別利用者数

(単位：人)

	～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	計	平均年齢
就労B型	0	1	7	3	1	1	13	39.1歳
生活介護	1	1	8	5	3	3	21	44.7歳
合計	1	2	15	8	4	4	34	42.8歳

(5) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	合計
就労B型	6	5	1	1		13
生活介護	14	6	1	0		21
合計	20	11	2	1		34

6 施設利用状況

就労継続支援B型

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数 (日)	22	22	20	23	19	21	23	21	18	20	20	21	250
延利用者 数(人)	764	742	631	720	528	606	261	239	196	242	237	245	5403
1日平均利 用者数(人)	33.9	33.7	31.6	313	28.3	28.9	11.3	11.4	10.9	12.1	11.9	11.7	21.7
利用率 (%)	86.9	86.5	80.9	82.4	76.5	80.2	81.1	87.5	83.8	93.1	91.2	89.7	83.8

生活介護

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数 (日)							23	21	18	20	20	21	126
延利用者 数(人)							376	354	272	328	342	344	2583
1日平均利 用者数(人)							16.3	16.9	15.1	16.4	17.1	16.4	16.4
利用率 (%)							77.8	80.3	72.0	78.1	81.4	78.0	78.0

7 各サービスの状況

7-1 【就労継続支援B型】

(1) 提供した生産活動

利用者ひとり一人のニーズや適性に合わせた作業科を設け、適切な作業支援を行った。

- ① 食品製造 ・クッキー、サブレの製造販売
※作業内容見直しにより令和7年3月で終了
- ② リサイクル ・施設外就労（菌床しいたけ生産農家での廃菌床片付け作業等）
・受託作業（福祉の村・ふれあい農園での野菜作り等）
・古紙・空き缶等の収集分別
・バザーの開催（古着等リサイクル品の販売、模擬店販売）
- ③ 製粉加工 ・食材の乾燥・製粉加工受託
・桑の葉パウダー等自主製品の販売
※作業内容見直しにより令和6年5月で終了
- ④ 受託作業 ・松柏園給食の配膳、片付け

(2) 年間作業収入

作業科	収入（円）	前年度対比（％）
食品製造科	1,958,323	49.2
リサイクル科（※）	1,954,990	98.9
製粉加工科	553,809	39.1
受託作業科	4,444,452	98.4
合計	8,911,574	75.0

（※）リサイクル科の収入は就労継続支援B型と生活介護の合計値

(3) 工賃支給状況

	令和6年度目標	令和6年度実績	備考（前年度実績）
平均工賃月額	5,000円	6,610円	8,075円

工賃支給内訳

項目	4月～9月	10月～3月	年間平均
平均利用者数	31.4人	11.5人	21.6人
平均工賃月額	5,182円	10,682円	6,610円

(4) 各作業科の状況

①食品製造科

食品製造科は、前年のほぼ半分の売り上げとなった。昨年からの生産能力に見合った生産・営業体制を継続した。主力商品に絞るなど商品構成を見直したことから産直等からの受注が当初の見込みよりも減少した。

利用者支援では、利用者個々の作業工程と作業量の調整を行い、無理のない作業となるよう努めた。

また、作業に携わることができる利用者が減り、作業科としての継続が難しいことから、作業内容見直しの一環として、今年度3月をもって終了した。

②リサイクル科

リサイクル科は、作業科全体としてほぼ前年並みの売り上げとなった。

農福連携作業では、椎茸農家での菌床片付け作業や菌床返し作業に年間を通じて取り組んだ。依頼に応じ取り組んでいるが連携先で廃業した農家もあり昨年より38%減少した。空缶等リサイクルは、作業可能日が増えたため、昨年より43%増加した。

古着等リサイクルでは、昨年秋に復活したバザーを今年度は夏と秋の年2回開催することができ、売り上げアップに貢献した。また、バザーの準備期間中は施設内の活動スペースが手狭になってしまうため、従来のディスプレイの仕方を変えて準備期間を短縮するなど工夫をしながら行った。

利用者支援では、施設外作業に従事する利用者の身体的な負担を軽減するため、作業日程の調整を行ったり、効率的な作業を心掛けるなど利用者の体調面に配慮しながら取り組んだ。

③製粉加工科

製粉加工科は、当初の計画通り今年度5月をもって終了した。終盤は常連顧客の駆け込み的な受注対応となった。

利用者支援では、製粉加工科から施設外作業を中心としたリサイクル科に合流した利用者に対し、新たな作業に取り組めるよう配慮しながら支援をした。

④受託作業科

松柏園給食業務の受託作業は、安定した給食の提供のため職員、利用者とも交代要員を総動員して取り組み、何とか継続することができた。利用者は配膳業務と洗い物等片付け業務に交代で従事しているが、利用者本人の取り組み希望や作業の難易度から交代できる利用者が限定されてきており、継続性に課題を残した。

利用者支援では、作業を集中できる環境づくりを心掛け取り組んだ。

7-2【生活介護】

(1) 創作的活動

創作的活動は、自己を表現する喜びや、視覚や手指からの感覚的な刺激を通して、豊かな感性を培うよう図った。また、利用者の特性に応じて、創作的活動を通して潜在的な表現力や感性を引き出し、利用者の活動の幅を広げていけるよう支援した。

提供にあたっては月間のプログラムを作成し、楽しみをもって利用できるよう準備に努めた。

①体や頭を使った元気の出る活動

- ・カラオケ
- ・脳トレ（パズル、ボードゲーム等）

②創作活動

- ・廃材アート、貼り絵などの作品作り

③グループで楽しむ活動

- ・レクリエーション（ミニボーリング、風船バレー等）
- ・ドライブ
- ・ミニシアター（DVD鑑賞）

(2) 生産活動

生産活動では、働くことを通して、心身機能の維持・向上や、役割を担うことでのやりがい、働くことの楽しさ等を享受できるよう支援した。

また、生産活動に従事した利用者に対し、生産活動に係る事業収入から必要経費を控除した額に相当する工賃を支給した。

①提供した生産活動

- ・リサイクル等軽作業（古紙・空き缶等の分別）
- ・施設外作業（しいたけ廃菌床片付け、農園作業）

②工賃支給状況

一人当たり平均工賃月額 8,379円

工賃支給内訳

項目	4月～9月	10月～3月	年間平均
支給対象平均利用者数		3.6人	3.6人
平均工賃月額		8,379円	8,379円

(3) 利用者の心身の状況に応じた支援

利用者一人ひとりの心身の状況に応じて、身体介助や健康管理等適切な支援を行った。
また、利用者の心身の健康の維持・増進を目的とした軽運動等の取り組みを行った。

①身体介助

- ・車いす介助
- ・排せつの自立について必要な援助

②看護職員による健康管理

- ・日々の健康チェック
- ・体調に不安がある場合の相談・助言
- ・必要に応じて協力医療機関等との連絡、通院

③軽運動等

- ・音楽に合わせた体操や散歩

8 主要事項

月	日	内容	場所	参加者
4	2	入所式	食堂	利用者、職員
5	1	消防避難訓練	園内	利用者、職員
	9.10	お茶会	食堂	利用者、職員
	25	家族会総会	食堂	利用者家族、職員
6	3～7 22	岩手県立久慈拓陽支援学校前期実習受入れ サマーバザール	作業室 園内	職員
7	3	豪雨災害想定避難訓練（3事業所合同）	みずき園、4ホーム	グループホーム利用者、3事業所職員
	12	夏の行事	もぐらんぴあ他	利用者、職員
	15	えーびーマーケット販売出店	道の駅いわて北三陸	利用者、職員
	20	ふれあい福祉まつり販売出店	福祉の村	職員
	22.23	第1回感染症対策訓練	園内	職員
8				
9	13	いわてスポーツネットワーク事業 （ふれあいランド講師来園）	作業室	利用者、職員
10	7～10 11 24	岩手県立久慈拓陽支援学校後期実習受入れ 秋の行事（葛巻、平庭高原） 消防総合訓練（3事業所合同）	作業室 平庭方面 園内	利用者、職員 利用者、職員
11	2 21	オータムバザール 地震・津波想定避難訓練（3事業所合同）	園内 園内	職員 利用者、職員
12	20 24	クリスマス会 忘年会	食堂 久慈グラントホテル	利用者、職員 利用者、職員
R7.1	14 17	BCP職員安否確認訓練 ミズキまつり	4事業所 園内	全職員 利用者、職員

2	1 7 11	第2回感染症対策訓練 利用者健康診断（3事業所合同） 冬の行事（ランタン作り、卓球バレー）	総合福祉センター 園内 園内	職員 利用者 利用者、職員
3	19	慰労食事会	グリーンビルおおの	利用者、職員

9 会議の状況

開催日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事確認等
毎月1回	利用者支援会議	全職員	利用者支援について
毎月1回	工賃支給会議	サービス管理責任者、作業科担当職員	工賃支給額の決定
年2回	工賃評価会議	施設長、サービス管理責任者、作業科担当職員	工賃評価の確認
年2回	個別支援検討会議	施設長、サービス管理責任者、作業科担当職員	個別支援計画について
年4回	給食会議	施設長、給食担当職員、調理員	給食業務全般、栄養指導等
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	施設長、副施設長、係長	各事業所の運営状況

10 職員研修の状況

施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
6/19	安全運転管理者講習	岩手県公安委員会	久慈市総合福祉センター	施設長	1名	
10/4	障がい福祉サービス事業者等集団指導	岩手県保健福祉環境部	オンライン	施設長	1名	行政による運営指導等について
2/13	サービス管理責任者更新研修	岩手県社会福祉士会	ふれあいランド岩手	サービス管理責任者	1名	資格更新研修

令和6年度 共同生活援助事業報告書

1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

4月から6月に掛けて新規2名の受入れと1名の退所があったが、7月以降は大きな変動なく充足率99%を維持した。しかし、新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症の罹患に伴う自宅療養や、ホーム内での感染防止のため自宅へ外泊する利用者が多く、利用率は例年を下回った。

また、非常災害対策の一環として、新たに地震・津波災害時と豪雨による土砂災害時の避難確保計画を作成し、津波想定区域の3ホーム（みずきハウス、なごみハウス、きららハウス）と、土砂災害想定区域の1ホーム（のどかハウス）の避難訓練を実施した。

2 共同生活住居の所在地及び利用定員

名称	所在地	利用定員	総定員
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	女性5人	22人
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	男性5人	
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	男性6人	
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	男性6人	

3 職員の配置状況（令和7年3月31日現在）（単位：人）

職種	員数	常勤	非常勤	常勤換算後の員数
施設長（管理者）	1	1		1
サービス管理責任者	1	1		1
生活支援員	2	2		1.2
世話人	7	4	3	5.4
合計	11	8	3	8.6

4 利用者の状況

（1）月別・ホーム別在籍利用者数

（単位：人）

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス （定員5人）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス （定員5人）	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	59	98%
のどかハウス （定員6人）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
きららハウス （定員6人）	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
合計	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	263	99%

(2) 障害支援区分別利用者数

(単位：人)

障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
区分 2	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	10	10	132
区分 3	7	6	6	6	6	7	7	8	8	8	8	8	85
区分 4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	263

(3) 出身市町村別利用者数

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	計
利用者数	13	5	2	1	1	22

5 サービス内容

(1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の同意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

日中活動サービスを変更する利用者が複数人おり、関係機関と連携しながら対応を行った。

(2) 食事の提供

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した(朝食：7:00～ 夕食：18:00～)。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。新型コロナウイルス・インフルエンザ感染防止対策の一環で体調不良者が発生した場合は居室にて食事提供を実施した。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応を行った。

(3) 入浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。利用者の心身状態に応じ入浴準備、見守り支援を行った。

(4) 排泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

(5) 地域生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続き、買物の同行、代行支援を行った。

(6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、入院時の各種手続き、面会等を行った。

(7) 余暇支援

新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症の感染症対策を優先しながら、利用者一人ひとりの希望を尊重しホーム内での交流や楽しみを取入れ、余暇の充実に繋げた。

<誕生日会、クリスマス会、食事会(2ホーム合同)等>

(8) 相談支援

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

火災時を想定した避難、通報、消火訓練を4ホーム合同、各ホーム毎に実施。(2月)

火災時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施予定(3月)だったが、コロナ感染防止のため中止とした。

水害時を想定した避難、通報訓練を4ホーム合同実施。(7月)

地震・津波を想定した避難訓練3ホーム(みずき・なごみ・きらら)実施。(11月)

土砂災害を想定した避難訓練1ホーム(のどか)実施。(1月)

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	施設長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議(ホーム毎)	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について
年2回	個別支援計画会議	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援計画について

9 職員研修の状況

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
1/17	サービス管理責任者更新研修	一般社団法人 岩手県社会福祉士会	ふれあいランド岩手	サービス管理責任者	1名	サービス管理責任者資格更新

令和6年度 あすリード本舗事業報告書

1 総括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労継続支援B型サービスを提供した。

施設の利用状況は、昨年から未利用であった利用者1名が期中に退所し、利用者数20名で推移した。1月に新型コロナウイルスの感染拡大が見られた他、疾病により長期入院した利用者があり、平均利用者数は前年を少し下回ったが、利用率は高く前年並みを維持した。

就労支援事業においては、前年に引き続き麺商品の売れ行きが好調であった。主力商品の生中華麺の他、2食入り袋麺やギフト販売に新商品を投入した効果が表れ、全体の売り上げを押し上げた。このことにより、平均工賃は前年を上回り3万円台を維持した。

利用者支援においては、施設外での行楽行事や忘年会を実施した他、年に数回「ラーメンの日」を設け、あすリード本舗の生麺を使用したラーメン昼食を無料提供するなど、楽しみをもって利用できるような支援に努めた。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成30年10月1日
- (3) 定員 20名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目
麺製造作業、菓子製造作業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（令和7年3月31日現在）

(単位：人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1		1			1
副施設長兼サービス管理責任者	1	1				1
事務員	2	2				2
生活支援員	1	1				1
職業指導員	4	4				4
目標工賃達成指導員	1	1				1
運転手兼職員補助	1			1		0.79
運転手	1			1		0.65
合 計	12	9	1	2		11.44

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービスの提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労希望者に対し、企業説明会の情報提供や参加への調整を行い、利用者個々の就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいがづくり等の支援を行った。

(5) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を実施した。

感染症対策として、毎朝の検温の実施と体調確認を行うとともに、手指消毒の徹底を行った。

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス利用者数 20名（利用率95%）

(7) 非常災害対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、消防計画及び業務継続計画を策定し、各種訓練を実施した。

防火対策では、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき避難訓練（通報・避難誘導）及び消防署指導による総合訓練（初期消火・通報・避難誘導）を実施した。

自然災害対策では、業務継続計画に基づき、地震・津波を想定した初動対応及び一時避難訓練を実施したほか、豪雨災害を想定した初動対応及びグループホーム利用者のみずき園への避難訓練をみずき園、松柏園合同で実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当職員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、生活支援に努めた。

(9) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

4 利用者の状況 (令和7年3月31日現在)

(1) 月別在籍利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	173	14.4
女性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6.0
合計	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	245	20.4

(2) 障害別利用者数

(単位:人)

障害種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A判定	B判定	1級	2級	3級	手帳なし	
利用者数	0	1	0	0	0	0	1	16	1	1	0	0	20
小計	1						17		2				

(3) 年齢別利用者数

(単位:人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	5	4	8	3	0	20	38.6歳

(4) 出身市町村別利用者数

(単位:人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	田野畑村	計
利用者数	11	5	3	0	1	20

5 施設利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数 (日)	22	22	21	23	19	22	23	21	22	20	20	21	256
延利用者 数(人)	462	462	441	483	399	440	460	420	440	400	400	420	4,689
1日平均利 用者数(人)	18.0	18.6	18.9	19.3	17.4	18.5	19.2	17.8	18.0	17.0	18.6	18.3	18.4
利用率 (%)	85.9	88.7	90.0	91.9	82.7	92.3	96.0	88.9	89.8	84.8	92.8	91.7	89.7

6 就労支援事業の状況

(1) 年間事業収入

項 目	収 入 (円)	前年度対比 (%)
製麺事業	33,848,470	104.3
食品製造事業	2,080,787	99.1
受託事業	5,292,465	104.6
合 計	41,221,722	104.0

(2) 工賃支給状況

	令和6年度目標	令和6年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	27,000円	31,201円	30,040円

(3) 各事業の状況

<製麺事業>

主力商品の生中華麺は、スーパー等量販店へ5食入りを中心とした少量商品の販売、食堂等へ業務用生麺の卸販売を継続的に営業し、ほぼ前年並みの売り上げとなった。

その他の商品では、地元の企業や団体と提携した各種2食入り袋麺(スープ付)が好調で、ラーメン店「サムライブギー」の新商品の効果もあり売り上げを伸ばした。また、ギフト販売でも、新商品を取り扱うなど営業努力を行った結果売り上げが伸び、部門全体の売り上げは前年を上回った。

利用者支援の状況は、可能な限り利用者を固定することで、作業への熟練度を上げ、安定的な作業となるよう努めた。

収入内訳(円)		前年 比%
袋・パック・箱	9,308,985	122.4
生中華麺	15,737,349	98.0
じゃあじゃあ麺	2,951,273	94.4
スープ類	2,395,536	95.4
ギフト・その他	3,455,327	146.1
計	33,848,470	104.3

<食品製造事業>

昨年、道の駅いわて北三陸産直との新規取引により、かりんとうの売上げが増加したが、今年度も同様の売上げを維持し、前年並みとなった。

利用者支援の状況は、菓子類の製造の他、受託作業との連携により作業を確保するよう努めた。

収入内訳（円）		前年 比%
かりんとう	1,738,135	100.0
その他（たい焼き等）	342,652	94.2
計	2,080,787	99.1

<受託事業>

のだ塩調整作業（異物除去等）は、(株)のだむらの生産が安定して推移したため、前年を上回る作業量を確保した。一方、利用者支援においては、疾病等で体調に配慮が必要な利用者に対応し、無理な作業とならぬよう確認しながら支援した。

木炭の袋詰め作業は、供給元の生産体制が不安定な状況であったが、連絡調整と交渉に努めた結果、前年並みの作業量を確保した。ただし、供給元から事業を終了せざるを得ない可能性があることの情報提供を受けており、その後、一旦は事業継続と決まったが、今後の継続性について課題が残った。

その他の作業では、おおのミルク工房からアイスカップ等のシール貼作業、(株)のだむらから山ぶどうの房取り作業を受託した。

収入内訳（円）		前年 比%
のだ塩調整作業	2,376,660	114.3
炭袋詰作業	2,536,300	103.2
その他（シール貼等）	379,505	72.8
計	5,292,465	104.6

7 主要行事

月	日	行事等	場所	参加者等
4	24	消防避難訓練	施設敷地内	利用者・職員
6	1	春の施設外行事（田野畑村マレットゴルフ・羅賀荘）	田野畑村	利用者・職員
6	19	利用者親睦会総会	施設内	利用者
7	3	豪雨災害想定避難訓練（3事業所合同）	施設内、みずき園、4ホーム	利用者・職員
7	23.24	第1回感染症対策訓練	施設内	職員
9	28	秋の施設外行事（カワヨ牧場・八食センター）	おいらせ町・八戸市	利用者・職員
10	24	消防総合訓練（3事業所合同）	施設敷地内	利用者・職員
11	21	地震・津波想定避難訓練（3事業所合同）	施設敷地内	利用者・職員

1 2	7	忘年会(グリーンヒルおおの)	洋野町	利用者・職員
1 2	2 5	クリスマス会	施設内	利用者・職員
1	1 4	BCP 職員安否確認訓練	4 事業所	全職員
2	1	第 2 回感染症対策訓練	総合福祉センター	職員
2	7	利用者健康診断	みずき園	利用者
3	2 6	慰労食事会	市内	利用者・職員
毎月 1 回		手話講習会	施設内	利用者・職員

*毎月 20 日は工賃支給日、体重・血圧測定

*ラーメン昼食の日、年 5 回提供

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内 容
毎月 1 回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、就労支援業務全般について
毎月 1 回	支援会議	全職員	利用者支援について
毎月 1 回	個別支援検討会議	全職員	利用者の個別支援計画について
年 1 回	工賃評価会議	施設長、サビ菅、作業科担当職員	利用者の工賃評価について
毎月 1 回	運営会議（4 事業所合同）	施設長、副施設長、係長	法人内全事業所の運営について

9 職員研修の状況

施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
10/4	令和 6 年度 介護・福祉事業者等集団指導	県北広域振興局	県北振興局	副施設長兼サービスマネジメント管理責任者	1 名	労働災害の防止 レジオネラ菌予防対策 運営指導実施結果等

令和6年度

チャレンジドセンター久慈事業報告

①雇用安定等事業

1. 総括

登録者が前年度より20名近く増えた。その中でも発達障がいを含む精神障がいの割合が全体の半数近くを占めてきており、これまでの支援対象は知的障がい者が中心であったが、今後は精神障がい者への支援に対応できるように専門的スキルの向上が必要と考える。

2. 事業概要

事業種別 : 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）

職員体制 : 主任就業支援ワーカー1名、就業支援ワーカー2名

支援対象 : 久慈圏域（1市1町2村）

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

（久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで）その他、あらかじめ指定した日を除く。

3. 事業の実施内容

(1) 企業開拓

○電話での実習依頼や企業訪問をし、実習先の開拓及び職場実習のあっせんを行った。

○就労希望者及び企業ニーズを的確に把握し、適切なジョブマッチングを行った。

○企業を対象に障がい者雇用に関する啓発活動を行った。

(2) 相談（職業生活に関すること・職場定着支援）

○就労を希望している障がいのある方等を対象に相談を行った。

○ケアマネジメントの手法に基づき、就労や職場実習を行った。

(3) 障害者雇用企業・事業所支援

○就職を希望する方の能力、特性に関する情報提供を行った。

○職業生活に課題が生じた場合の相談・支援を行った。

○スキルアップを目的とした研修会を開催した。

◆事業所対象研修会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回

日時：令和6年5月24日（金）14：00～16：30

場所：久慈グランドホテル 2階 ロイヤルホール

参加者：企業：17名 構成員：17名 講師：3名 計37名

研修内容：講演①：うつ病の方への対応とうつ病のサイン

講師：県北広域振興局保健福祉環境部

岩手県久慈保健所

保健師 木川田 志保 氏

講演②：うつ病の方へのリワーク支援

講師：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

岩手支部 岩手障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 荒井 康平 氏

第2回

日時：令和7年1月16日（木）14：00～15：40

場所：久慈グランドホテル 2階 ロイヤルホール

参加者：企業：11名 構成員等：8名 講師：2名 計21名

研修内容：行政説明：障害者雇用助成金について

久慈公共職業安定所

職業指導官 南野 光哉 氏

講演：発達障がい者の特性と定着支援のポイント

岩手県発達障がい者支援センターウィズ

相談員 四戸 航 氏

(4) 関係機関との連携

○関係機関との連携強化を図り、一体的かつ総合的な支援体制（チーム支援）の構築を図った。

◆ネットワーク会議（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

第1回 令和6年4月25日（木） 出席者数：21名

報告

- (1) 久慈地域障害者自立支援協議会について
- (2) 久慈地区障がい者就労支援ネットワークについて
- (3) 令和6年度事業計画について

議事

- (1) 令和5年度事業報告について
- (2) 会員企業について
- (3) 第1回事業所対象研修会について
- (4) 第1回在職者交流会について
- (5) 就労継続支援事業所合同説明会について
- (6) 就労継続支援事業所合同販売会について
- (7) 第2回在職者交流会について

第2回 令和6年6月27日（木） 出席者数：22名

報告

- (1) 就労継続支援事業所合同説明会について
- (2) 「えーびーマーケット～夏の陣～」について
- (3) 第2回在職者交流会について

議事

- (1) 第1回事業所対象研修会について
- (2) 第1回在職者交流会について
- (3) 久慈地域障がい者職場説明会について
- (4) 第3回在職者交流会について

第3回 令和6年8月28日（水） 出席者数：19名

報告

- (1) 久慈地域障がい者職場説明会について
- (2) 第3回在職者交流会について

議事

- (1) 第2回在職者交流会について
- (2) 合同説明会実施結果について
- (3) えーびーマーケット～夏の陣～について
- (4) 第2回事業所対象研修会について
- (5) 職場説明会 in 久慈拓陽について

<p>第4回 令和6年10月31日（木） 出席者数：17名</p> <p>報告</p> <p>(1) 職場説明会 in 久慈拓陽について</p> <p>議事</p> <p>(1) 第3回在職者交流会について</p> <p>(2) 久慈地域障がい者職場説明会について</p> <p>(3) 第2回事業所対象研修会について</p> <p>(4) 第4回在職者交流会について</p> <p>(5) 第5回在職者交流会について</p> <p>(6) えーびーマーケット～冬の陣～について</p>
<p>第5回 令和7年1月30日（水） 出席者数：16名</p> <p>報告</p> <p>(1) えーびーマーケット～冬の陣～について</p> <p>議事</p> <p>(1) 第4回在職者交流会について</p>
<p>第6回 令和7年3月6日（木） 出席者数：17名</p> <p>議事</p> <p>(1) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽について</p> <p>(2) 第2回事業所対象研修会について</p> <p>(3) えーびーマーケット～冬の陣～について</p> <p>(4) 令和7年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について</p>

(5) 職場説明会の開催

○障がい者と事業所のマッチングと相互理解を目的とした説明会を開催した。

◆職場説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

<p>【職場説明会】</p> <p>第1回 久慈地域障がい者職場説明会</p> <p>日 時：令和6年9月6日（金） 13：30～16：35</p> <p>場 所：久慈グランドホテル 2階 ロイヤルホール</p> <p>参加者：企業8社：11名 障がい者等：20名 構成員等：21名</p> <p>見学企業：6社8名 計60名</p>
<p>第2回 久慈地域障がい者職場説明会in久慈拓陽支援学校</p> <p>日 時：令和6年11月22日（金） 13：15～14：50</p> <p>場 所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館</p> <p>参加者：企業8社：12名 久慈拓陽支援学校生徒：22名</p> <p>教員、保護者：24名 構成員：7名 計65名</p>

(6) 交流会・勉強会の開催

○障がいのある方等に対して、情報交換・勉強会等のサポートを行った。

◆在職者交流会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

<p>第1回 令和6年6月7日（金）</p> <p>「熱中症の予防と対処法」—あつつ—どきどうすっぺ～！—</p> <p>参加者数：在職者… 3名</p> <p>構成員… 11名 講師… 1名 計15名</p>

<p>第2回 令和6年7月18日(木)</p> <p>「1人暮らしへの一步」—見て 知って 考えるグループホームの生活—</p> <p>参加者数：在職者…4名</p> <p>構成員…12名 講師…1名 計17名</p>
<p>第3回 令和6年9月19日(木)</p> <p>「成年後見制度ってな～に？」—聞いてみよう地域の専門家に！—</p> <p>参加者数：在職者…3名</p> <p>構成員…11名 講師…1名 計15名</p>
<p>第4回 令和6年12月13日(金)</p> <p>「ストレッチでストレスフリー」—体ポカポカ！心も軽やか！—</p> <p>参加者数：在職者…5</p> <p>構成員…9名 講師…1名 計15名</p>

(7) 本人会開催のサポート

○障がいのある方等の会合で、情報提供等必要に応じてサポートを行った。

(8) 生活困窮者のうち障がい者が窺われる者への就労促進と職場定着

○障がい者が窺われる者との面談や支援プラン策定の場への同席をした。

○受け入れ企業への助言や訓練への同行を行った。

4. 事業継続に係る実績

(1) 就業… 16名

(2) 実習… 21名

5. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
5月17日	復命研修 「面接技術について」～面接技術の基礎傾聴技術について	研修参加職員	主任就業支援 ワーカー	1名	資料を基に面接技術についての講義
1月6日	復命研修 意思決定支援に着目した個別支援 発達凸凹さんとの関わり方が楽になる実践講座	研修参加職員 研修参加職員	主任就業支援 ワーカー 就業支援ワーカー	3名	資料を基に意思決定支援についての講義 資料を基に発達障がい者への支援についての講義

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
4月26日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	3名	講義 面接技術について
8月1日	宮古圏域チャレンジドフォーラム	宮古圏域障がい者自立支援協議会	宮古市	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	2名	講演 産業×福祉 産福連携について 講演 地域資源と福祉の連携について 意見交換 宮古圏域の取組について
9月13日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市	就業支援ワーカー	2名	講演 多様な相談支援事業とその役割
11月15日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	3名	講演 企業との交渉について 講演 全国障害者就業・生活支援センターの状況について
2月7日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	3名	講義 障害者雇用の取組と思い

②生活支援等事業

1. 総括

基本的な職業生活上における支援を中心に行った。前年度と同様で一般就労されている方は日常生活も概ね自立されており、生活支援の頻度は少なかったが、一人暮らしなどの将来的ニーズへの対応が今後必要と思われる。

2. 事業種別 : 障害者就業・生活支援センター事業 (生活支援等事業)

職員体制 : 生活支援ワーカー 1名

支援対象 : 久慈圏域 (1市1町2村)

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

(久慈圏域管轄外の市町村 八戸市、軽米町、葛巻町等)

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始 (12月30日から翌年1月3日まで) その他、あらかじめ指定した日を除く。

3. 事業の実施内容

(1) 地域生活支援

- 福祉施設やサービス事業所の紹介や見学同行などを行った。
- 福祉制度を有効に利用できるよう、情報の提供や手続き等の支援同行を行った。
- 職場への通勤支援や病院への通院同行を行った。
- 余暇活動の支援や情報提供を行った。
- 上記を踏まえ、相談支援事業所と連携しながら支援を行った。

(2) 職業生活を高める支援

- 職場で抱える悩みの相談にのり、仲間づくりや本人らが話し合える場の提供に努めた。
- 日常生活を送るうえで本人に必要な勉強会を開催した。

◆在職者交流会 (障がい者就労支援ネットワークの事業として実施)

第1回 令和6年6月7日 (金) 「熱中症の予防と対処法」—あつつ—どきどうすっぺ〜!— 参加者数: 在職者… 3名 構成員… 11名 講師… 1名 計15名
第2回 令和6年7月18日 (木) 「1人暮らしへの一歩」—見て 知って 考えるグループホームの生活— 参加者数: 在職者… 4名 構成員… 12名 講師… 1名 計17名
第3回 令和6年9月19日 (木) 「成年後見制度ってな〜に?」—聞いてみよう地域の専門家に!— 参加者数: 在職者… 3名 構成員… 11名 講師… 1名 計15名
第4回 令和6年12月13日 (金) 「ストレッチでストレスフリー」—体ポカポカ!心も軽やか!— 参加者数: 在職者… 5 構成員… 9名 講師… 1名 計15名

(3) 職場定着支援

- 企業での人間関係の調整を行う。
- 家庭訪問や定期的な面談を行い、家族を含めた就労後のフォローアップを行った。
- 事業主に対する障害特性の相談や職場定着における支援を行った。
- 健康管理や金銭管理等、社会生活に必要な助言を行った。

(4) 関係機関との連携

- 学校、福祉、医療機関等、各関係機関との連携を図り、地域の中で本人の生活を支える仕組み作りに努めた。また、本事業の理解を促進するため、ネットワーク構築を図った。

4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
5月17日	復命研修 「面接技術について」～面接技術の基礎傾聴技術について	研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	資料を基に面接技術についての講義
1月6日	復命研修 意思決定支援に着目した個別支援 発達凸凹さんとの関わり方が楽になる実践講座	研修参加職員 研修参加職員	生活支援ワーカー	1名	資料を基に意思決定支援についての講義 資料を基に発達障がい者への支援についての講義

(2) 施設外研修

- ・なし

③相談支援事業

1. 総括

今年度も一般相談よりも計画相談での支援が多かった。計画相談においては、事業所からの個別支援計画の交付が義務化されたことにより、関係機関との相談支援件数が増えた。

また、就労継続支援事業の利用ニーズは増えて来ていることとサービス種別の変更などにより支援件数が増えており、相談員1名での対応が困難な状況が続いており、他の相談支援事業所へ引き継ぐケースが増えてきている。

2. 事業概要

事業種別 : 特定・児童相談支援事業、一般相談支援事業

職員体制 : 相談支援専門員1名、事務員1名

支援対象 : 久慈圏域（1市1町2村）

地域 : 久慈市、洋野町、野田村、普代村

（その他の地域に関しては、必要性に応じて検討する）

営業時間 : 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後5時15分。

ただし、祝日、年末年始（12月30日から翌年1月3日まで） その他、あらかじめ指定した日を除く。

3. 事業の実施内容

（1）相談、福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、手続き、計画作成等）

○日常生活全般に関する相談に応じるとともに、サービスの提供方法を理解しやすいよう説明を行った。また、サービス等利用計画の作成についても必要に応じて実施した。

（2）社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言・指導等）

○各種支援施策に関する助言を行い、生活していくうえで社会資源を有効に活用するとともに、既存の社会資源をつなぎ合わせることに努めた。

（3）社会生活力を高めるための支援

○社会生活上における助言や支援を行い、社会生活力の確保・向上に努めた。

（4）権利擁護のために必要な支援

○契約等の判断をすることが不安な方、日常生活に不安を抱えている方などに対して、自立した地域生活が安定して送れるように福祉サービスや成年後見人制度等の利用援助を促した。

（5）関係機関との連携、ネットワーク構築

○行政、福祉、医療、教育等の関係機関と連携を図るとともに、必要な専門機関の紹介を行った。また、関係機関とのネットワークを構築し、地域生活を支えるシステム作りに努めた。

◆就労継続支援事業所合同説明会（障がい者就労支援ネットワークの事業として実施）

【就労継続支援事業所合同説明会】

第1回

日時：令和6年7月2日（金）13：15～15：00

場所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館

参加者：説明事業所7事業所：12名 久慈拓陽支援学校生徒：30名

教員：20名 保護者：9名 構成員：7名

学校教育サポーター：7名

計85名

(6) 就労支援分科会の運営

○行政機関、サービス提供事業者等の関係者が福祉、就労、保健医療、教育等のサービスを総合的に調整し、障がいの有無に関わらず、安心して暮らせる地域づくりに努めた。

◆就労分科会

第1回	令和6年4月25日(木)	出席者数：21名
	報告	
	(1)	久慈地域障害者自立支援協議会について
	(2)	久慈地区障がい者就労支援ネットワークについて
	(3)	令和6年度事業計画について
	議事	
	(1)	令和5年度事業報告について
	(2)	会員企業について
	(3)	第1回事業所対象研修会について
	(4)	第1回在職者交流会について
	(5)	就労継続支援事業所合同説明会について
	(6)	就労継続支援事業所合同販売会について
	(7)	第2回在職者交流会について
第2回	令和6年6月27日(木)	出席者数：22名
	報告	
	(1)	就労継続支援事業所合同説明会について
	(2)	「えーびーマーケット～夏の陣～」について
	(3)	第2回在職者交流会について
	議事	
	(1)	第1回事業所対象研修会について
	(2)	第1回在職者交流会について
	(3)	久慈地域障がい者職場説明会について
	(4)	第3回在職者交流会について
第3回	令和6年8月28日(水)	出席者数：19名
	報告	
	(1)	久慈地域障がい者職場説明会について
	(2)	第3回在職者交流会について
	議事	
	(1)	第2回在職者交流会について
	(2)	合同説明会実施結果について
	(3)	えーびーマーケット～夏の陣～について
	(4)	第2回事業所対象研修会について
	(5)	職場説明会 in 久慈拓陽について
第4回	令和6年10月31日(木)	出席者数：17名
	報告	
	(1)	職場説明会 in 久慈拓陽について
	議事	
	(1)	第3回在職者交流会について
	(2)	久慈地域障がい者職場説明会について
	(3)	第2回事業所対象研修会について
	(4)	第4回在職者交流会について

	(5) 第5回在職者交流会について (6) えーびーマーケット～冬の陣～について
第5回	令和7年1月30日(水) 出席者数：16名 報告 (1) えーびーマーケット～冬の陣～について 議事 (1) 第4回在職者交流会について
第6回	令和7年3月6日(木) 出席者数：17名 議事 (1) 久慈地域職場説明会 in 久慈拓陽について (2) 第2回事業所対象研修会について (3) えーびーマーケット～冬の陣～について (4) 令和7年度就労支援ネットワーク事業計画(案)について
【就労継続支援事業所合同説明会】	
第1回	
日 時：令和6年7月2日(金) 13:15～15:00	
場 所：岩手県立久慈拓陽支援学校 体育館	
参 加 者：説明事業所7事業所：12名 久慈拓陽支援学校生徒：30名	
教員：20名 保護者：9名 構成員：7名	
学校教育サポーター：7名 計85名	
【就労継続支援事業所合同販売会】	
第1回	
日時：令和6年7月15日(月祝) 10:30～14:30	
場所：道の駅いわて北三陸	
参加者：出店事業所7事業所 スタッフ9名	
来場者：延べ463名	
第2回	
日時：令和7年2月11日(火) 10:30～14:30	
場所：道の駅いわて北三陸	
参加者：出店事業所：7事業所 スタッフ：9名	
ボランティア：5名	
来場者：販売コーナー延べ279名 PRコーナー延べ160名延べ	

4. 業務体制の充実と職員の資質向上

下記の研修に参加し専門知識、技術の習得に励み、資質向上に努めた。

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
5月17日	復命研修 「面接技術について」～面接技術の基礎傾聴技術について	研修参加職員	相談支援 専門員	1名	資料を基に面接技術についての講義

1月6日	復命研修 意思決定支援に 着目した個別支 援 発達凸凹さんとの 関わり方が楽 になる実践講座	研修参加職員 研修参加職員	相 談 支 援 専 門 員	1名	資料を基に意思 決定支援につい ての講義 資料を基に発達 障がい者への支 援についての講 義
------	--	----------------------	------------------	----	--

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
5月16日	令和6年度第 1回久慈地域 メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	ZOO M開催	相 談 支 援 専 門 員	1名	講話 「久慈地域の自 殺の現状と自殺 対策の取組につ いて」
8月8日	令和6年度第 2回久慈地域 メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	ZOO M開催	相 談 支 援 専 門 員	1名	講話 「岩手モデル」 について 等
9月19日	令和6年度第 4回久慈地域 メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	久慈地 区合同 庁舎	相 談 支 援 専 門 員	1名	活動報告 等
11月13日	障がい理解 講演会	久慈市	久慈市 総合福 祉セン ター	相 談 支 援 専 門 員	1名	発達凸凹さんとの 関わり方が楽 になる実践講座
11月21日	令和6年度第 6回久慈地域 メンタルヘル ス・サポート ネットワーク 連絡会	岩手県久慈 保健所	ZOO M開催	相 談 支 援 専 門 員	1名	活動紹介 等

12月10日	令和6年度障害福祉関係者対象ゲートキーパー養成研修	久慈地域障害者自立支援協議会	久慈市役所	相談支援専門員	1名	講義 「あなたもゲートキーパーになろう！」
--------	---------------------------	----------------	-------	---------	----	--------------------------